

授業科目 児童家庭福祉論Ⅰ

【担当教員名】 丸田 秋男	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GI0】

全国的な都市化現象等地域社会の変貌は著しく、そこに暮らす子ども達の生活ストレスを背景とした様々な問題行動が浮き彫りになっている。児童、子育て環境、社会のありよう全体を視野に入れ、そこで生み出される子ども自身の問題と多様な家族形態の中で抱える児童の中で抱える児童家庭問題の本質を考えてみたい。その上で、現行の児童福祉諸制度、児童福祉の理念、さらには政策・制度の現状と問題点について論じ、少子高齢化が一段と進む中、子どものすこやかな成長を支える児童福祉、児童家庭福祉はいかにあるべきかを考えるべきかを考える。

【学習目標・行動目標：SB0】

1. 児童福祉の歴史と基礎概念について学習する。
2. 現代社会と児童福祉について学ぶ。
3. 子どもを健やかに生み育てる環境について考える。
4. 児童福祉の法と児童福祉施策、実施体制について学ぶ。
5. 児童福祉にかかわる専門機関、専門職種について学習する。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	福祉サービス 虐待待児、要保護児童のための福祉について学ぶ。		講義中心
2	同上 同上		
3	要保護児童施策の動向 要保護児童施策をめぐる新たな動きについて学ぶ。		
4	障害児の福祉 障害児の現状と障害児童福祉施策の課題について学ぶ。		
5	母子家庭等の福祉 母子・父子家庭の現状と福祉施策について学ぶ。		
6	母子保健 母子保健法の概要と福祉施策の課題と動向について理解する。		
7	児童の健全育成 健全育成の意味と健全育成施策の課題について理解を深める。		
8	保育 保育に欠ける児童の福祉施策について学ぶ。		
9	同上 同上		
10	子育て支援 子育て支援サービスの経緯と支援サービスの内容について学ぶ。		
11	児童福祉専門職 児童福祉実施機関・福祉施設の専門職について学ぶ。		
12	関連分野の専門職 民間や行政機関の専門職について学ぶ。		
13	民間サービス 民間サービスや地域住民・ボランティア活動について学ぶ。		
14	最近の施策の動向 新たな児童家庭福祉の動向と少子化対策・次世代育成支援を学ぶ		
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	第5巻「児童家庭福祉論」	社会福祉学習双書	全社協	最新版
	社会福祉小六法2010		ミネルヴァ書房	最新版
参考書	必要に応じて紹介する			
その他の資料	必要の都度配布する			

【評価方法】

1. 出席 2. 小テスト 3. 定期試験を総合して評価する。

【履修上の留意点】

社会福祉士を目指す学生にとって必須の専門科目であるので、目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。